

第3号様式

令和7年度第5回社会教育委員会議 会議録

(令和8年3月12日作成)

1 開催日時

令和8年2月3日(火曜日)午後3時00分から午後4時08分まで

2 開催場所

県合同庁舎 3階 分室会議室1

3 出席者

(1) 委員 草野 滋之、佐原 摩貴子、平尾 美佐、丹間 康仁(※)、
高橋 利明、磯野 一男、鶴見 一義、石川 康二、長尾 常史
※オンライン参加

(2) 職員 生涯学習部長、社会教育課長、文化課長補佐、青少年課長、
生涯スポーツ課長、中央公民館長、東部公民館長、
西部公民館長、北部公民館長、高根台公民館長、西図書館長、
市民文化ホール館長、郷土資料館長、青少年センター所長

(3) 事務局 社会教育課職員

4 欠席者

能勢 恵美

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 連絡・報告事項(公開)

①社会教育課

・令和8年船橋市成人式実施報告について

②文化課

・令和7年度 取掛西貝塚 講演会

・第30回ふなばし音楽フェスティバルについて

・第38回船橋市文学賞の選考結果について

③生涯スポーツ課

・2025船橋市民マラソン大会 実施報告

・2026船橋駅伝フェスティバル 実施報告

④中央公民館

・令和7年度公民館文化祭について

⑤西図書館

・令和7年度船橋市西図書館所蔵資料展

「国貞×国芳×広重 三絵師の浮世絵展」

・子どもをかわいいと思えない日があっても大丈夫！

待ちよみてなあに？絵本子育て講演会

6 傍聴者数（全部を非公開で行う会議の場合を除く）

0人

7 決定事項

連絡・報告事項について、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 問い合わせ先

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話：047-436-2895

午後 3 時 0 0 分開会

○草野委員長

それでは、これより令和 7 年度第 5 回社会教育委員会議を開催いたします。

本日の会議は半数以上の出席がございますので、船橋市社会教育委員の会議運営に関する要綱第 6 条により成立していることをご報告させていただきます。

また、船橋市情報公開条例第 26 条の規定により、船橋市の設置する附属機関の会議は原則公開とされていることから、傍聴人の受付をしましたところ、傍聴人の希望はなかったことを報告いたします。

それでは、これより次第に沿って会議を進めてまいります。

まず、次第の 1 番、「連絡・報告事項」についてです。社会教育課よりお願いいたします。

○社会教育課長

社会教育課でございます。報告事項「令和 8 年船橋市成人式実施報告について」でございます。資料の 1 ページをご覧ください。

令和 8 年成人式は、1 月 12 日に船橋アリーナにて 2 部制で実施いたしました。草野委員長におかれましては、ご多忙の中、長時間にわたりご臨席いただきありがとうございます。表の合計欄でございますとおり、第 1 部と 2 部を合わせた参加者数は 4,234 名、参加率は 66.89% でした。昨年と比べますと、参加者数は 3 人多い一方で、対象者数が増えているため、参加率は 0.44 ポイントの減となっております。今回は船橋アリーナでの開催でしたが、当日は事故もなく無事に終えることができ、例年の懸念事項となっていた駐車場の渋滞についても、駐車場入口のバーを開けておくことでかなりの改善が図られました。来年からはあらアリーナでの開催となりますが、成人式対象者や保護者アンケートの結果を参考としながら、引き続き内容などの検討を進めていきたいと考えています。

報告は以上です。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいまの事項について、ご意見、ご質問等がございますでしょうか。

○磯野委員

磯野です。社会教育課長に伺います。今、説明の中で、バーを開けておくことで混雑しなかったというふうに聞こえましたけれども、去年の報告のときに、送り迎えの車ですごく大変な思いをしたということを聞いたように思っています。今年はそういうことがなくて、バーを開けておくということは、料金支払いに改善をしたのかどうか分からないので、その辺のことをちょっと教えてもらえませんか。私どもの団体もアリーナを使って大会をやるがあるので、何かいい知恵があればと思います。よろしくお願いします。

○社会教育課長

基本的に駐車場の利用は事前に申請をいただいて、申請をいただいた車だけ停めていた

だく。送迎のみは入ってそのまますぐ出ていただくという形で、申請なしでやらせてもらっているのですが、毎回、バーが降りて上がる、バーが降りて上がるの繰り返しで渋滞になってしまうので、今年はアリーナ側と相談をさせていただいて、停める駐車場代分は市が負担して、バーを開けっ放しにさせてもらおうというような形をとりました。

○磯野委員

無料にしたということだね。ありがとうございました。

○草野委員長

ほかに何かご意見、ご質問がございますでしょうか。

オンラインで出席の丹間委員は、何かご意見、ご質問がございますでしょうか。

○丹間委員

この件に関しては特にございません。

○草野委員長

分かりました。

私も今年出席させていただきました。やはり若者たちが非常に積極的に、特に司会とか裏方の仕事も含めて、若者たちの手づくりの成人式という雰囲気伝わってきまして、若者が主体的に担っていくという雰囲気が年々高まってきているような印象を受けました。

成人式というのは一つの人生の節目になるイベントですので、そういう機会に積極的に主体的にイベントを担っていくという経験が、今後の社会人として活躍していく上でも大変いい力になるのではないかと考えております。

せっかくこういう成人式をつくり上げるという経験をしたわけですから、そういう経験をさらに高めてもらって、例えば市のいろんな企画とか行事とか今後もあると思いますけれども、そういう自治体の若い力になるような、今後につないでいくような企画なんかもぜひ準備されていけばいいのではないかと思いましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

○社会教育課長

ありがとうございます。実はこの成人式の企画運営委員だったり出演者は、終了した後成人式友の会という組織をつくってしまして、全員ではないのですが、希望の方はその友の会に入って、翌年以降の成人式についてはいろんなボランティアで参加してくれたり、毎年練習を見に来てくれて、自分たちはこうだったよというようなアドバイスをしてくれたりして、成人式だけで終わらずに仲間同士のつながりも、結構仲よく、よく会っていますよなんて話も聞くんですけども、そのままつながりを持って成人式に関わる活動に参加してもらっています。

○草野委員長

ありがとうございました。

この件に関して、あと何かご質問、ご意見がございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、続いて、文化課よりお願いいたします。

○文化課長補佐

文化課から3点ほどご連絡させていただきます。

1点目、令和7年度取掛西貝塚講演会についてです。資料2ページ、3ページをご覧ください。3月15日、きららホールで、令和3年に国史跡に指定された取掛西貝塚の魅力を広く市民の方々に知っていただくため、講演会を開催いたします。この講演会は毎年1回開催しているもので、今回は「石器から読み解く縄文の暮らし」をテーマに、2人の講師をお招きし、石器や取掛西貝塚について講演をいたします。講演会を通して市民の皆様へ、船橋市で初めて国史跡に指定された取掛西貝塚の魅力や重要性の周知を図ってまいりたいと思います

続きまして、2点目、資料4ページからになります。「第30回ふなばし音楽フェスティバル」についてでございます。「音楽でまちを元気に！」をテーマに、平成9年から始まり第30回目を迎えましたふなばし音楽フェスティバルは、市と市民の皆さんが共に企画・運営し、毎年秋から冬にかけて市内各地域で開催される音楽イベントでございます。昨年10月に「ふなばしミュージックストリート」で幕を開けた音フェスは、3月まで市内の各地域で様々な音楽イベントを開催します。2月8日には冬の音フェスで最大の規模を誇り、世代や音楽ジャンルを超えて奏でられる「第33回音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」を開催いたします。今回も市内小中学生、高校生、一般の方々でつくる趣向を凝らしたプログラムが観客を魅了いたします。スペシャルゲストとして、船橋市出身のミュージシャンである奥華子さんが出演します。直接会場にお越しになれない人もお楽しみいただけるよう、J:COMでの生中継のほか、J:COMアプリ「ど・ろーかる」でも生配信を行いますので、ぜひご覧いただければと存じます。

続きまして、最後3点目です。資料の12ページをご覧ください。第38回船橋市文学賞の選考結果についてでございます。昭和63年から実施しております本文学賞は今年度で38回目を迎え、今年も6歳から90歳まで非常に幅広い世代の方々から131作品のご応募をいただきました。応募作品については、小説家の森沢明夫先生や児童文学者の角野栄子先生など名だたる選者による選考を経て、部門ごとに文学賞と佳作を決定し、広報ふなばし（2月1日号）で公表したところでございます。なお、今後は受賞作品をまとめた作品集を発行するほか、3月20日には受賞式を開催する予定でございます。

文化課からは以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいまの文化課からご報告された事項について、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

丹間委員、お願いいたします。

○丹間委員

文化課からのご説明ありがとうございました。私からはそのうち2点目の「ふなばし音

楽フェスティバル」について質問させていただきます。

第30回目を迎えたということで、「音楽でまちを元気に」というスローガンのもと、特に後半の部分になるのですけれども、「地域ふれあいコンサート」という形で、それぞれの地域の身近な会場である公民館を使ってコンサートが行われているということで、音楽の広がりというんですか、船橋市全体はもちろん、それぞれの地域を拠点に音楽活動に触れられる機会があるということが、非常にすばらしいなと感じているところです。

お尋ねしたいのは、公民館でコンサートを行うことの良さ、その点をどのように考えていらっしゃるかということです。ただの会場として、ホールとしてそこを使っているということなのか、そうではなく、やはり公民館だからこそそのコンサートの在り方とか工夫とか、そういった点があればぜひ伺ってみたいなと思いました。

○草野委員長

では、文化課のほうからただいまのご質問に対していかがでしょうか。

○文化課長補佐

貴重なご意見ありがとうございます。地域住民で組織された実行委員会、これがもとになって各公民館で「地域ふれあいコンサート」というものを開催しているわけですが、公民館で開催することでその地域の住民の方が行きやすくなる、そういった方々に音楽を届けるという意味では非常にいい事業だと思っております。今年も14か所にてコンサートを開催しておりますので、この事業を継続的に行ってまいりたいと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

では、丹間委員いかがでしょうか。何かご意見、ご質問、さらにありますでしょうか。

○丹間委員

ご回答ありがとうございました。それぞれの公民館には日頃からそこで音楽活動をされているサークルや団体もあると思ひまして、そういったところとのコラボレーションというんですか、そういったものも広がっていくと、公民館で行う良さというものがさらに出せるかなと思ひまして質問をさせていただきました。ありがとうございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、今のことに関して何か補足的なご質問でも構いませんが、いかがでしょうか。

○中央公民館長

中央公民館館長です。地域ふれあいコンサートを何回か実際に公民館として体験した感想を申し上げますと、まず参加された方から、ホールとかは特にご高齢の方ですとなかなか行くことができないけれども、(公民館であれば)気軽に行けると。あと、お孫さんを連れてきたりとか、なかなかお金を払ってホールに行くのは敷居が高いということで、身近に感じられるというのは、皆さん非常に感謝しているというお言葉を聞いています。また、実行委員の方も、地域の事情等を併せて、趣向を凝らしてアーティストの方を呼んだりとい

うことで、地域の一体感も生まれて非常にいい事業だと感じております。

○草野委員長

公民館でこういったふれあいコンサートが行われるということで、私も大変興味深く思っているのですけれども、各公民館の音楽的な設備とか環境とかホールの状況とか、そういうことに関してはどうなのでしょう。船橋といいますと、小学校、中学校なんかは音楽室の設備が大変立派で、音楽的環境が素晴らしいということは聞いているのですけれども、公民館の音楽をする上での環境とか設備などはどういう状況なのでしょう。

○中央公民館長

館によりまして、例えば宮本とか葛飾、二和になりますと、小ホール的な取扱いということで稼働式のステージがあったり、専門的な職員の配置がございます。それ以外の公民館ですと、講堂に音響設備等を設置している箇所もありますので、学校で行うコンサートよりも、音響設備でいうと、全てがそろっているわけではないのですが、コンサートにも適した会場という形になっております。

○草野委員長

ありがとうございました。

ほかに文化課からのご報告について、何かご質問、ご意見がございますでしょうか。

鶴見委員は、音楽のこういった企画について、いかがでしょうか。

○鶴見委員

そうですね、私自身もふなばし音楽フェスティバル、FMFと呼んでいますけれども、その活動の中で、千人の音楽祭は毎年出演者として市民合唱団という形で出ているんですけれども、やはりこの規模の大きさというのが、私も最初は本当に千人も出るのと思ったら本当に出るんですよ。それこそ吹奏楽、オーケストラ、市民合唱とか、それから和楽も全部含めて、非常にたくさんの違うジャンルの方々が出られて、非常に面白いといふかな。こういうのを毎年何十回もやっているということが素晴らしい伝統だなといつも感じて、今週末も実は出るようになっておりまして頑張りたいと思いますけれども、そういういい機会だなというふうに思います。

それから、今、丹間委員さんのほうから「地域ふれあいコンサート」のご質問が出ましたけれども、私の認識ですと、「地域ふれあいコンサート」でも一応プロの方に出ていただくということになっておりまして、プロの方と一緒にアマチュアの方も出ることもあります。設備のお話もあったと思いますけれども、実は私このFMFの実行委員長をやっております。年に2回ほど皆さんのお話を伺うんですけれども、やはり専門設備ではないけれども、例えば椅子をただ並べるだけでやるということでお金もなかなか取れないんですけども、地域地域で触れ合って楽しんでもらうということが一番の趣旨だと思うんですね。非常にいいと思います。

そのほかでいうと、公民館まつりになりまして、これはもう基本的にプロではないアマチュアの方が非常に楽しんでやるというような形になっていまして、船橋のこういう活動

というのは、そういう意味でいろんなジャンルからいろんな人が集まって、いろんなものをするというようなところですね。非常に私は面白いなど、ほかの市に比べても恐らく面白いなどというふうに見ております。そんなのが私の意見です。

○草野委員長

ありがとうございました。

私も今度、千人の音楽祭に参加というか、聴衆としてですけれども、大変楽しみにしております。

では、ほかに文化課からの報告についていかがでしょうか。

最初の「取掛西貝塚を考える」という企画ですけれども、これは例えば学校の総合学習とか、あるいは歴史学習とか、そういう学校教育の中で、かつての船橋の縄文期の暮らしを感じることができるこういう企画に触れて、子供たちが船橋の歴史について非常に興味を持ったり、地域の文化に興味を持つといったこともあると思います。そういう地域と学校の協働ということにもつながると思うのですが、学校教育との連携という点はどういうふうに意識されてやっておられるのか、その辺を伺いたいと思います。

○文化課長補佐

取掛西貝塚にかかわらず市内の発掘現場は、こちらから近隣の学校に案内を出しまして、遺跡の見学会というのを催してございます。これについては場所が限られていますので、交通手段も限られている中で、発掘現場の近くの近隣校にご案内をして、その学校の児童生徒に見ていただくというような学校見学会というものは実施してございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次の事項に行きます。

続いて、生涯スポーツ課よりお願いいたします。

○生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課です。2点報告させていただきます。

まず、「2025 船橋市民マラソン大会」の実施報告でございます。資料は13ページをご覧ください。船橋市マラソン・駅伝実行委員会の主催、教育委員会及びスポーツ協会の共催にて、令和7年11月16日（日）、運動公園内の周回コースにて、13の部門により実施いたしました。当日は晴天に恵まれ、資料にありますように、13部門合計で702人の参加を得て盛大に開催することができました。

続きまして、「2026 船橋駅伝フェスティバル」の実施報告です。資料は本日お配りしました資料をご覧ください。実施日が1月31日でありましたことから、当日の資料配付となりましたことをご詫言申し上げます。また、資料に掲載の参加者数が現在速報値となっております。今後変更の可能性がありますことをご容赦願います。

船橋市マラソン・駅伝実行委員会の主催、教育委員会及びスポーツ協会、船橋中央ライ

オンズクラブの共催にて、令和8年1月31日（土）、運動公園内の周回コースにて7部門により実施いたしました。この大会は、これまで行ってきました「小学生女子駅伝大会」と「成人の日記念駅伝競走大会」を統合して行う初めての大会でございました。各部門の参加チーム数、参加者数は資料のとおりとなりますが、7部門合計で160チーム、1,216人の参加を得て盛大に開催することができました。また、これまでの成人の日の駅伝競走大会では、公道コースを利用しており、今大会から運動公園周回コースに変更になったことによりまして、特に一般男子の参加者数が減ってしまうのではないかと懸念されておりましたが、一般男子参加チームのエントリー数が前回大会では30チームだったところ、今大会では37チームのお申込みをいただくことができました。今後もこの大会を継続実施し、参加チーム数の増加やより充実した内容となるよう、実行委員会にて検討を重ねてまいります。

生涯スポーツ課からの報告は以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいまの生涯スポーツ課からの報告について、ご意見、ご質問はありますでしょうか。

○磯野委員

生涯スポーツ課にお尋ねします。コースを変更して道路を使わないということで今回やりましたけれども、課長から見て、変更してやっぱりよかったというふうに聞こえてきたのですが、その辺のことをまず伺いたい。

それと、他市から来ている校長先生方とちょっと会う機会がありまして、「船橋はすごいね。すごくスポーツが盛んな様子がよく分かる」というふうなことを言われたんです。「何で」と私は聞いたんですが、そのときに「どの学校も先生方がいっぱい応援に来ている」というふうなことを伺いました。他市から来ている校長先生は知らないのかもしれませんが、船橋市の良さはそこにあるのかなと私は実は感じているんです。特に小学生の参加を見ると、54チームだから全校が出ているという意味ではないかなと思います。そこに小学校の先生も中学校の先生もいらっしゃいますので、私行っていないので雰囲気は分からないのですが、校長先生や教頭先生が応援に来てくれたり、あるいは先生方が応援に来てくれたり、すごく盛況だったなというふうに感じたのか、その辺もさっきの課長の話と併せてちょっと教えてもらえればと思います。

○生涯スポーツ課長

今回コースを変更したことによる評価といったご質問かと思いますが、聞こえてきた選手たちの声は、まず一般男子のほうでは、「とても楽しかった」というような声を上げてくれたチームもありますし、また高校の部門につきましては、これまで公道だったために代表の選手しか走ることができなかったけれども、今回は運動公園内の周回コースということで、1つの学校から複数のチームの参加も認めて実施しました。その影響によりまして、

これまで補欠で走ることができなかつた生徒たちも参加することができて、その生徒たちも大変喜んでいたというようなお声も頂戴いたしましたので、そういった意味では、周回コースでのメリットというのも出てきたのではないかと感じてございます。

そして、先ほど学校の先生方がたくさんお見えいただいたというお話もありましたが、ちょっとここは私どもお話をさせていただきたいところで、これまでの小学生の駅伝大会、成人の日の駅伝大会も、監督会議を集合形式で学校の先生も含めて皆さんに参加していただいていたのですが、今回その点も改善させていただきました。集合形式をやめまして書面による会議ということで、陸上部の学校の先生方の負担の軽減ということも図ることができましたので、ちょっとその辺はお話しさせていただきたいと思いました。失礼いたしました。

○磯野委員

ありがとうございました。

○草野委員長

そうしましたら、ほかにこの件に関していかがでしょうか。どうぞ。

○長尾委員

小学校長会の長尾です。1月31日に本校も参加しました。昔は男子チームと女子チームということで2チーム出ているのが大変だったのですが、やはり小さい学校はなかなか選手がそろわないとか、季節的にインフルエンザとか、そういう関係で選手がそろわない学校に関しては、この1チームで男女混合チームになったことはすごくよかったのではないかなと思う点があります。

また、本校も小さい学校ではあるのですが、当日10名ほど職員が来て、日曜日の休日に来てくれて、なかなかありがたいなと思うところですが、運営面でちょっとよろしいでしょうか。

開会式のときに集合しないで自分たちの場所で開会式を行ったんですけども、なかなか声が聞こえずに、開会式をやっている中でアップをしているチームもあつたりということで、開会式の緊張感というか、教育長なども挨拶しているんですがなかなか聞こえなくて、そういうところがすごくもったいなかったなという感想を持ちました。

また、敷地内とはいえ、私の学校も10名が来ているというお話をしましたけれども、保護者とか学校からたくさんの先生方がいろんな場所で立って応援しているんですね。それはすごくいいなと思うんですけども、やはりトップから最後のチームまでのゴールの時間に差があつて、自分たちのチームのアンカーが通ると大体動き始めるんですね。まだレースが続いているんだけど、コースに入ってきてしまう保護者とか学校の職員とかもいて、まだやっていますよみたいな感じで止めた部分ではあるのですが、そういうところのマナーもちゃんとしたほうがいいのかなと、こちら側のことなんですけれども思いました。

○石川委員

中学校の校長会の石川です。よろしくお願いいたします。

本校は残念ながら参加できなかったのですが、「何で参加しないの」と陸上の顧問に聞いたら、結局、県大会につながらない。ですので、うちの陸上部は百何人いるもので、上につながる大会を目指してやっているもので、それが残念だったというふうに言っていました。ただ、やはり噂に聞くとすごく盛況な大会だったということで、運動公園に移行しても、やっぱりマラソン・駅伝は廃れないんだなということを感じました。来年度も運動公園でやると思いますが、先ほど長尾委員のほうからありましたように、やっぱり最初から最後までですごく差が出てしまうので、その辺りをどういうふうにしていくのかというのを、駅伝実行委員会の中でも話し合っただけであればありがたいかなと思っています。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの石川委員、長尾委員のご意見に関して、生涯スポーツ課のほうは何かコメントがありますでしょうか

○生涯スポーツ課長

今ご指摘をいただきましたように、小学生チームのゴールによって差があるので、保護者さんたちが入ってきてしまうというご指摘だったのですが、これは以前からある問題でして、実行委員会としても毎回検討して制止をするようにはしておりますが、なかなかそこが解消できていないことがあります。マナー等はまた実行委員会のほうで検討していければと思っております。あと、観戦する方にも、そういった点はモラルを持っていただきたいなとこちらとしては思うところでございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ほかにこの件に関していかがでしょうか。ご質問、ご意見ありますでしょうか。

丹間委員のほうからは、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

○丹間委員

この件について特にございません。

○草野委員長

ありがとうございます。

では、次の事項に進めさせていただきます。

続いて、中央公民館よりお願いいたします。

○中央公民館長

中央公民館でございます。令和7年度公民館文化祭についてご報告いたします。

令和7年10月4日から11月23日の土曜日・日曜日をメインに24公民館で実施をいたしました。改修工事の関係で習志野台公民館、塚田公民館で実施することができませんでし

たが、開催した公民館では模擬店の出店、近隣の小中学校及び高校の児童生徒による演奏や合唱、作品展示などがございました。また、近隣農家の方に新鮮な野菜を提供していただくなど、様々な地域団体との連携が図られ、地域の特色を生かした内容で実施をいたしました。

参加人数は5万8,818人、1館当たりの平均では2,451人となります。昨年度の参加は6万2,850人、1館当たりの平均は2,514人でありまして、昨年度と比較すると参加者数は4,032人減少、1館当たりの人数は63人の減少でございました。ただし、令和6年度は25館で開催した関係がございまして、数だけ見ると少ない参加には見えますが、実際各館で実施した人数を比較しますと、参加者が多くなった公民館が見られました。また、天候の影響で多少昨年度と比べて人数が減ってしまった館はございましたが、おおむね例年と変わらぬ人数もしくは増加している傾向でございます。

文化祭での発表を励みにされております団体が非常に多く、どの館におきましても発表会は盛大でございました。また、体験会から新たにサークルに加入する方もいるとの報告があったことから、団体への活動支援の一助となったものと思われまます。次年度以降につきましても、公民館文化祭が地域の皆様の交流する場となるよう、より魅力のある文化祭を展開してまいりたいと考えております。

中央公民館からは以上です。

○草野委員長

ありがとうございます。

では、ただいまの中央公民館からの報告に関して、いかがでしょうか。ご意見、ご質問ありますでしょうか。

丹間委員、お願いいたします。

○丹間委員

令和7年度の公民館文化祭の様子を人数でご報告いただき、ありがとうございました。参加者数をどのように数えるかというのは、非常に難しいかもしれません。技術的にも難しいかもしれませんけれども、例えば、この参加人数の中に日頃から公民館を使っている方と、その活動の成果をこのおまつりの際に発表されるという方はもちろん含まれていると思いますけれども、むしろそれ以外の、初めて公民館に来てみましたという方がどれくらい実際にいらっしゃるのか、それを数えるのはなかなか難しいかもしれませんけれども、これが非常に大事だと思っています。公民館のサークル・団体というのは、大学のサークルと違って、卒業とか入学とか、あるいは新入生の歓迎みたいな、そういうものが定期的になくて、メンバーの新陳代謝がしづらいという面もあると思います。そこで、これまで公民館を使っていなかった方とか、何か始めてみたいんだけど思っている方にとってのきっかけというのが、公民館の文化祭にはあるのではないかと感じているところです。ぜひそういった新たな方に来ていただくような工夫とか、あるいは実際そういう動きが人数の面も含めてあるのであれば、教えていただきたいなと思います。

○草野委員長

お願いいたします。

○中央公民館長

文化祭の中で、例えば小中学校の合唱とか作品提示になりますと、ふだん公民館に来館されない父兄の方がお見えになるということで、「公民館のことを初めて知った」とか「こういう施設だったんだ」という声も伺っております。また、館によりましては、任意にはなりますがアンケートのほうも実施しておりますので、その中から利用された方の声を拾いながら、公民館の運営に寄与していければと考えております。

○草野委員長

ありがとうございます。

丹間委員のほうから何か補足のご質問、ご意見ございませんか。

○丹間委員

ありがとうございました。ぜひ年に1回の公民館文化祭の場をきっかけに公民館の輪を広げていただきたいなと思って、質問させていただきました。

○草野委員長

こういう公民館の文化祭というのは、丹間委員もおっしゃいましたけれども、公民館の地域の中での広がり、地域の中に公民館という存在が広く認知されるという浸透していく非常に大事なイベントであり機会だと思います。初めての参加者あるいは子供たち、若者たち、そういうふだん公民館をあまり利用していない人たちが、こういうイベントをきっかけに公民館の企画に関心を持ってサークルに入ってみたりということもあると思います。それから、外国籍の方でなかなか地域に馴染めなかった人が、こういうイベントをきっかけにして地域とのつながりを持つようになったとか、そういうこともあると思います。

ですから、どういうふうにその辺の広がりを浸透させていくのか、公民館をどういうふうに地域に広げていくのかということで、この文化祭だけではないかと思いますが、その辺りの公民館というものもを本当に地域に根差す、実質的に地域の市民の人たちが居場所として感じられるような、そういう施設にしていくということが今後の公民館の大事な課題でもあると思いますので、その辺はぜひお願いいたします。

○高橋委員

高橋です。ちょっと教えてください。今、丹間委員や草野委員長がおっしゃったような、公民館の役割があるというところなのかどうか分からないのですが、夏見公民館だけ金曜日に1日多く開催されていて、その辺りは何か狙いを持った企画が行われたのか、つまり土日に来られないような人が金曜日なのか、それとも事前準備で開催しただけなのか、何かその辺り事情が分かったら教えてほしいなと思いました。お願いします。

○高根台公民館長

高根台公民館です。中部ブロックの夏見公民館ですけれども、毎年、前夜祭ということ

で、その前のときに卓球大会などをやらせていただいている形でございます。

○高橋委員

ありがとうございます。すごく今ので興味が湧いてしまって、ごめんなさい。それは、例えば土日に参加する団体が交流を目的にやるのか、それとも地域のみinnでわーっという感じで集めてやるのか、その辺りの狙いは、卓球大会とかだと交流を図るみたいなイメージがありますが、そのような狙いなんでしょうか。

○高根台公民館長

詳しく聞いてはいないのですけれども、基本的にはサークルさんを中心ということで、一般の人も参加できます。ちなみに、高根台公民館でも前夜祭をやっていました。それはダンスサークルによる前夜祭ということで、発表会で講堂を使うため講堂が埋まってしまうので、その講堂を使う団体が別の日に事前に自分たちだけで交流という形で使わせていただいております。

○高橋委員

分かりました。ありがとうございました。面白い。

○草野委員長

そうしましたら、いかがでしょうか。ほかにご意見、質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、続きまして、西図書館よりお願いいたします。

○西図書館長

西図書館の館長です。資料は 15 ページをご覧ください。図書館からは事業を 2 点ほどご報告させていただきます。

まず、15 ページ、令和 7 年度船橋市西図書館所蔵資料展「国貞×国芳×広重 三絵師の浮世絵展」についてでございます。この展示会は、2 月 24 日（火）から 3 月 1 日（日）に船橋市民ギャラリーにて開催いたします。

西図書館では船橋市に関する地理、歴史、民俗等を扱った資料や、郷土に関する古文書や絵画、古地図、絵図など様々な資料を所蔵しております。これら所蔵する貴重な資料を市民の皆さんに鑑賞していただき、船橋の歴史や地理を学んでいただくとともに、まちへの愛着を育てていただけるよう、毎年、船橋市民ギャラリーにて展示会を開催しているところでございます。

今年度は、令和 7 年の NHK 大河ドラマ「べらぼう」で、多くの浮世絵師を演出した版元 葛屋重三郎が選ばれましたことから、浮世絵の世界が爛熟期を迎えた 19 世紀に活躍した歌川国貞、国芳、広重の三絵師に焦点を当てまして、約 40 点の作品を展示する予定となっております。美人画や役者絵を数多く描いた歌川国貞、武者絵やユーモアにあふれた絵で知られる歌川国芳、名所絵の巨匠として江戸の風景を数多く写し取った歌川広重、これら 3 人は浮世絵を代表とする絵師として広く知られており、江戸後期から幕末にかけて浮世絵界で隆盛を誇った歌川派の絵師となります。江戸後期から幕末へと続く時代の雰囲気や江

戸庶民が親しんだ娯楽を、この機会にぜひ浮世絵を通してご覧いただければと思っております。

次に、16 ページをご覧ください。「子どもをかわいいと思えない日があっても大丈夫！待ちよみてなあに？絵本子育て講演会」についてでございます。

マタニティ読みきかせシニアアドバイザーであり、絵本を使った子育てについて、様々な自治体や企業、学校等で講演実績のある内田早苗氏を講師にお招きいたしまして、3月1日（日）に市民文化創造館（きららホール）にて講演会を開催いたします。

図書館では、第二次船橋市図書館サービス推進計画で、子供の可能性を伸ばす図書館を目指すことを目標の一つとして掲げておりまして、子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことができる環境づくりを進めるため、「読み聞かせボランティア入門講座」や「読書感想分講座」などの事業を行っております。今回はその一環といたしまして、絵本を使った子育て「待ちよみ」について全国で講演などを行っている内田氏を講師にお招きするものでございます。

内田氏は、自治体の家庭教育事業ですとか読書推進事業などで数多くの講演を行っているほか、「子供の持つ力を信じて、ただひたすら待つこと」、そうした子育ての大切さを保護者に訴える活動を行う傍ら、TBS 系列の「マツコの知らない世界」に2回出演されておりまして、本の魅力をタレントのマツコ・デラックスさんと語り合うなど、メディアでも活躍されておりまして、講演会では、絵本の魅力について語っていただくほか、子育ての悩みについてもお話ししていただく予定となっております。

以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいまの西図書館からの報告について、いかがでしょうか。ご意見、ご質問ありますでしょうか。

絵本というのは大変魅力的なものでありまして、子育てに限らず大人も絵本に親しむ、最近絵本がブームになっているということを聞いておりますけれども、絵本に親しむ、あるいは子育てをしておられる方々が、こういった絵本と出会って、絵本の魅力に刺激を受けて、絵本についてもっと学んでみようというふうなことがあると思うのです。

絵本ということに関して、例えば読み聞かせの企画だとか、あるいは公民館なんかですと、参加者の方々が自分たちの創造というか、絵本を自らつくり上げていく、そういう手づくり絵本をつくるサークルがあって、公民館の企画としてもそういった手づくり絵本をつくらうという企画があったりします。西図書館のほうでは、絵本ということテーマにした企画ですとか、あるいは今回のイベントもそうですが、こういう講演会、それからもう少し広げて児童文学とか、そういうことも含めて、子供と本の出会いをどういうふうに広げていくかということに関して、かなり力を入れているのではないかと想像しているのですが、その辺りは日常的な図書館の活動として、どうなんでしょうか。

○西図書館長

西図書館、また3図書館を指定管理者制度で運営しておりますけれども、4図書館で実施している取組についてお答えさせていただきたいと思います。

まず、こうした大きな講演会、今回は読みきかせについてですけれども、例えば児童文学の角野栄子さんをお呼びして、ご講演を頂戴したりということもこれまでしてきましたし、また、各図書館では毎週木曜日には絵本の会を1日2回ずつやっておりますし、それ以外にも、「本とおはなしの会」というのも毎月、各図書館で実施しており、それは子供たちと保護者の方向けに実施しております。

また、そうした読みきかせをできるようにになりたいという市民の方々が潜在的にすごくいらっしゃるというふうに感じておりまして、図書館では「読みきかせボランティア入門講座」を毎年度実施しております。その一方で、大人も絵本を聞いて楽しみたいというようなこともあるかと思っておりますので、大人のためのおはなし会を実施する予定ですが、そういった様々な観点からの取組を実施しているところでございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ほかに西図書館の報告に関していかがでしょうか。ご質問、ご意見ありますでしょうか。

丹間委員のほうからは、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

○丹間委員

そうしましたら、この「絵本子育て講演会」について質問させていただきます。大変素晴らしい内容で、ぜひ参加してみたいと思われる親御さんも多いのではないかなと感じています。小さい字ですが、「小さなお子様連れも大歓迎」というふうに書いていただいている、なかなか子育て中だと、こういった講演会の場に足を運んでみようというのもどうしても躊躇してしまったり、そういう条件が整えられなかったりして、断念してしまうこともあるかなと思ひまして、一緒に小さい子を連れていってもいいんだというのであれば、ぜひそこのところはもっとアピールしていただいてもいいのかなと。

他方で、これはホールで実施されるということで、例えば照明が暗くなったり、もちろん飲食も禁止だったりするので、少し飲んだり食べたりということも難しかったり、そういう意味で、大歓迎と言われても本当に行っていないのかなとか、行ったときに、2時間の講演でもありますので、途中で出入りしていいのかなとか、その辺り何か今回工夫されていることとか配慮されていることがあるようでしたら、ぜひそこを教えていただくと、本当に気兼ねなく、日曜日でもありますし、親子一緒に参加できるというのがすごくいい企画だと思ったのですが、その辺りどのような状況でしょうか。

○西図書館長

小さなお子様もぜひ、子育てで悩んでいらっしゃる方、一人で悩んでいらっしゃる方もいらっしゃるという中での講演会ですので、こういった形で周知させていただいております。

す。長時間にわたりますので、当然出入りは自由というようなところです。あと、照明の暗さですとかその辺については、詳細は担当とこれからまた詰めていくところもあると思っております。

○草野委員長

ありがとうございます。

丹間委員のほうからは補足で何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

○丹間委員

本当にすばらしいテーマ、内容だと思いますので、ぜひそのような形で進めていただければと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

では、ほかにご意見、ご質問ありますでしょうか。

○佐原委員

佐原です。質問でも何でもないのですけれども、ここに書いてある「子どもをかわいと思えない日があっても大丈夫!」、この言葉ってすごく救われるなと思います。私もまだ子育て中ではありますが、3人を育ててきて、かわいいですけど、本当に「はぁ」と思う日もあるので、この言葉って、まだ小さい子を育てているお母さんたちにとってすごく救われる言葉ではないかなと思いました。これを見て参加してくださる方がいらっしやればいいのではないかなと思います。

○草野委員長

公民館なんかで活動されている子育てサークルの方々など、まさに子育て真っ最中の方々も公民館の中でもいろんな活動をされていると思いますけれども、公民館と図書館のコラボというか、そういうものが今後もあるといいのではないかなと今ちょっと思いました。こういう企画を通して公民館で活動されている方が図書館に来て、そこでまた講演会を聴いてふだんのサークルの活動に生かしていくというような、公民館と図書館のつながり、連携というか、その辺りも今後考えてみたら面白いのではないかとちょっと思いました。

○西図書館長

小さな子向けという部分では、公民館と十分に連携できていない部分もあるかとは思っています。ただ、図書館の職員が公民館の講座に、読みきかせの関係で講師として出向いたり、公民館と連携した読書感想文講座ですとか、あとは子供向けではないのですが、図書館ツアーを公民館の皆さんたちがしてみたいということで、来ていただくかというような企画も検討していますので、様々な部分で公民館の事情と図書館の状況に合わせて少しずつ連携しているところはあります。今後もその辺り連携を意識しながら事業を進めていけたらいいなと思っております。ご意見ありがとうございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

○高橋委員

私も船橋パパ会という団体を運営してきていまして、こういう講演会を本当にいいなと思ったので、みんなにシェアしたいなと思ったところです。

今はもう子供は大きくなってしまいましたけれども、未就学児だったころにこういうイベントをやったときに、たしかきららホールだったと思いますが、トイレに行くほうにマットを敷いて、そこにちょっとしたおもちゃがあるだけで、ちょっと出てきて子供をそこで遊ばせられて、市内の保育専門学校の学生さんにボランティアをお願いしたりして、そこにいてくれるだけで子供がいても全然参加しやすいということがつづけていたので、そういったことをもしご検討されていたらですけど、私もそういうことをやったなと思い出したのでお話ししました。やはり丹間委員がおっしゃっていたように、「お子様連れ大歓迎」とか、「騒いじゃっても大丈夫」とか、それぐらい強く書いてもこういう企画はいいと思うんです。そのほうが参加しやすいと思いましたので、ちょっと申し上げました。

○西図書館長

貴重なご意見ありがとうございます。持ち帰りまして担当とも共有して、より参加しやすい講演会、当日も困った人ができるだけ出ないような形で実施していきたいと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

ほかにご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次第の1番、「連絡・報告事項」について、(1)から(5)まで各課から報告が終わりました。

それでは、次第の2番、「その他」に参ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。

丹間委員のほうから、何かほかにごございますでしょうか。

○丹間委員

特にございません。

○草野委員長

各課から随時連絡・報告ということで、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

事務局からは特にありません。

○草野委員長

ほかに各課からの報告というのもございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。

では、以上で議題が終了いたしました。ありがとうございます。

それでは、これにて令和7年度第5回社会教育委員会議を終了いたします。

また、本日の議事録署名の委員ですが、高橋委員と鶴見委員、よろしいでしょうか。

(両委員 了承)

○草野委員長

お願いいたします。

では、本日はどうもありがとうございました。

午後4時08分閉会